

ベンチャー(VENM)

EMSでシンガポール2位。供給網分断や地政学リスクの観点でシンガポールEMS企業の優位性が強まる可能性

シンガポール | EMS・ODM(受託製造サービス) | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG VMS:SP | REUTERS VENM.SI

- 2023/12期1H(1-6月)は、売上高が前年同期比11.9%減、純利益が同19.7%減。経済正常化で前年同期が堅調だったことの反動減が出た。
- 技術ドメインにおける大半の事業が減収。シンガポールは底固く推移したものの、その他のアジア太平洋地域(含む中国)の不振が響いた。
- 世界EMS企業大手は台湾・中国本土・米国企業が占める。供給網分断や地政学リスクの観点でシンガポールEMS企業は優位性を強めよう。

What is the news?

8/4発表の2023/12期1H(1-6月)は、売上高が前年同期比11.9%減の15.82億SGD、純利益が同19.7%減の1.40億SGD。売上高の水準が2020年および2021年の同期を上回ったものの、前年同期が新型コロナ禍からの経済回復・正常化の追い風を受けて堅調だったことの反動減を背景として大半の事業の需要が弱含んだこと、および顧客企業の在庫水準低下が響いて減収となった。現金および銀行預金残高は昨年末比で10.2%増の8.95億SGDと財務面の健全性は増した。

2023/12期1H(1-6月)の事業セグメント別の業績は以下の通り。

技術ドメイン別の売上高は、「ポートフォリオA」(生命科学、遺伝子解析、分子診断その他関連材料技術、医療機器および設備、ヘルスケア&ウェルネス技術、ライフスタイル消費者技術、健康増進製品その他)が前年同期比14.9%減の6.91億SGD。他方、「ポートフォリオB」(計測・検査測定技術、ネットワーク&通信、セキュリティ&安全、建築自動化、産業IoT、フィンテックおよび高度決済システム、コンピューティング・生産性システム、高度産業技術、半導体関連製品、印刷・イメージング、その他部品技術)は、同9.4%減の8.96億SGDだった。

地域セグメント別売上高は、シンガポールが前年同期比0.1%減の4.15億SGD、シンガポール除くアジア太平洋(含む中国)が同15.9%減の10.81億SGD、その他地域が同9.5%減の86百万SGDだった。

How do we view this?

同社は、EMS(電子機器受託製造サービス)においてシンガポール企業としては米ナスダック上場のフレックス(FLEX)に次いで2位である。

EMS研究ウェブサイトのMMIによれば、世界EMSランキングで同社は13位(フレックスは5位)とされている。同社より上位の海外企業(11社)は、台湾企業が4社、中国本土企業が3社、米国企業が3社、カナダ企業が1社である。西側諸国と中国とのサプライチェーン(供給網)分断や輸出規制、および台湾に係る地政学リスクの高まりといった要因を考慮すると、西側諸国と中国とのどちらの陣営にも偏らず「アセアンのハブ」として貿易拠点の地位を占めるシンガポール企業はハイテク製品受託製造サービスにおいて今後一層、有利な立場を強めるものと期待されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=107.74円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万SGD)	3,012	3,106	3,862	3,304	3,469
当期利益(百万SGD)	297	312	369	297	320
EPS(SGD)	1.02	1.07	1.27	1.03	1.10
PER(倍)	12.39	11.81	9.97	12.33	11.49
BPS(SGD)	8.92	9.35	9.76	10.07	10.42
PBR(倍)	1.42	1.35	1.30	1.26	1.21
配当(SGD)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.76
配当利回り(%)	5.93	5.93	5.93	5.89	6.04

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD)	0.75	(予想はBloomberg)
終値(SGD)	12.64	2023/9/11

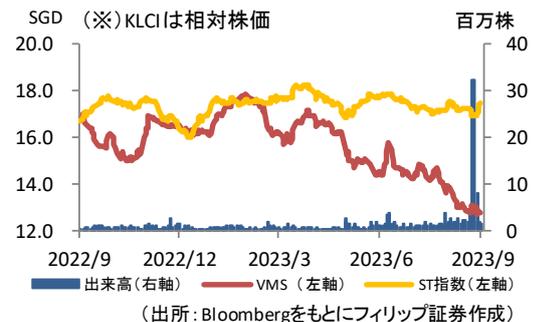
会社概要

1999年に3社の合併により設立されたシンガポールを本拠とする電子サービスプロバイダー。「フォーチュン500社」メンバーである100社以上のグローバル企業に対して受託製造業務を行い、大手エレクトロニクス企業のバリューチェーン管理においてトップクラスの地位を占めている。

イノベーション、設計開発、製品およびプロセス・エンジニアリング、製造可能な設計、サプライチェーン・マネジメントなど、多様な技術領域における能力・キャパシティを擁する。東南アジア、北東アジア、アメリカ、欧州にセンター・オブ・エクセレンスを擁し、世界各地に30以上の会社を有する。

様々な技術領域における深いノウハウと専門知識で知られている。その中には、ライフサイエンス、ゲノミクス、分子診断、医療機器、ヘルスケア、ラグジュアリーライフスタイル、ウェルネス技術、試験・計測技術機器、ネットワーク・通信、先端産業、コンピューティング、印刷、イメージング技術などが含まれる。

ベータ値	1.10
時価総額(百万SGD)	3,799
企業価値=EV(百万SGD)	2,926
3か月平均売買代金(百万SGD)	31.3



主要株主(2023/9)	(%)
1. Wong Ngit Liong	7.11
2. シロダ	6.00
3. ブラックロック	4.89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。